



平成 24 年 3 月 29 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 キ リ ン 堂  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 寺 西 忠 幸  
会 長 兼 社 長  
(コード番号 2660 東証・大証第一部)  
問 合 せ 先 専 務 取 締 役 井 村 登  
(TEL. 06-6394-0039 (代表))

特別損失の発生並びに  
平成 24 年 2 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 24 年 2 月 1 日に「連結子会社との合併に関するお知らせ」において開示いたしましたとおり、同年 8 月 16 日を効力発生日として、当社 100%出資の連結子会社である㈱ニッシュードラッグを吸収合併することを決議し、合併契約を締結いたしました。当該吸収合併により、当社個別業績において、合併時に発生する抱合せ株式消滅差損の見積額を当期に「関係会社株式評価損」として特別損失を計上する見込みであり、確定次第開示することとしておりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、それに伴い、平成 23 年 4 月 1 日に公表した「平成 24 年 2 月期（平成 23 年 2 月 16 日～平成 24 年 2 月 15 日）」の個別業績予想を下記のとおり修正いたします。

なお、「関係会社株式評価損」は、個別財務諸表上で計上されるものであり、連結上相殺消去されるため、連結業績への影響はございませんが、連結当期純利益が、平成 23 年 4 月 1 日に公表した前回予想を上回る見通しでありますので、併せてお知らせいたします。

記

1. 通期業績予想の修正（平成 23 年 2 月 16 日～平成 24 年 2 月 15 日）

①連 結

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 23 年 4 月 1 日)	百万円 104,100	百万円 1,640	百万円 1,850	百万円 120	円 銭 10.59
今回修正予想 (B)	102,229	1,684	1,960	184	16.31
増 減 額 (B-A)	△1,870	44	110	64	
増 減 率 (%)	△1.8	2.7	6.0	54.0	
(ご参考) 前期実績 (平成 23 年 2 月期)	100,465	1,118	1,537	188	16.63

②個 別

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 23 年 4 月 1 日)	百万円 97,500	百万円 1,620	百万円 1,870	百万円 460	円 銭 40.60
今回修正予想 (B)	94,757	1,763	2,090	△954	△84.22
増 減 額 (B-A)	△2,742	143	220	△1,414	
増 減 率 (%)	△2.8	8.9	11.8	△307.5	
(ご参考) 前期実績 (平成 23 年 2 月期)	93,200	1,264	1,630	482	42.56

## 2. 通期における特別損失の発生及びその主な内容

### ①連 結

- ・資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額について  
「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第 18 号 平成 20 年 3 月 31 日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第 21 号 平成 20 年 3 月 31 日)の適用に伴い、平成 24 年 2 月期第 1 四半期決算において 5 億 90 百万円を特別損失として計上いたしました。
- ・減損損失について  
「固定資産の減損に係る会計基準」を適用することに伴い、当社及び当社連結子会社が所有している店舗設備等の一部について減損損失が 1 億 39 百万円発生する見込みであります。

### ②個 別

- ・関係会社株式評価損について  
合併の効力発生日(平成 24 年 8 月 16 日)に発生する抱合せ株式消滅差損の見積額を当期に「関係会社株式評価損」として 16 億 30 百万円を計上する見込みであります。  
なお、「関係会社株式評価損」は、個別財務諸表上で計上されるものであり、連結上相殺消去されるため、連結業績への影響はございません。
- ・個別業績におきましても、連結と同様、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 4 億 71 百万円を特別損失に計上したほか、減損損失 1 億 3 百万円を特別損失として計上する見込みであります。

以上により、連結業績におきまして 7 億 55 百万円、個別業績におきまして 22 億 18 百万円を特別損失に計上する見込みであります。

## 3. 通期業績予想の修正理由

### ①連 結

現在、当社グループは、顧客第一主義の徹底をテーマに、中長期的な成長基盤の確立と企業価値向上に向け、従業員の意識改革を図るための教育と、組織・店舗・システムの構造改革を推進しております。

当期におきましては、徹底したセルフサービス売場づくりとライトカウンセリング販売体制づくり、プライベート・ブランド商品の育成とアイテム数の拡大、調剤事業の強化などの重点施策に取り組み、既存店の活性化を進めてまいりました。

売上高におきましては、前回の予想をやや下回っておりますが、売上総利益率の改善並びにコストコントロールを経営の根幹に置き、収益の確保に努めた結果、営業利益・経常利益がいずれも前回予想を上回る見通しであることに加え、特別損失の計上見込額が予想を下回ったことから、当期純利益に関しては、前回予想を上回る見通しであります。

### ②個 別

主として、上記「2. 通期における特別損失の発生及びその主な内容」のとおり、関係会社株式評価損として特別損失を計上する見込みであることから、当期純利益に関しては、前回予想を下回る見通しであります。

- (注) 1. 当社(連結・個別)は、平成 24 年 4 月 2 日に通期決算発表を予定しており、詳細につきましては、決算発表にてご報告させていただきます。
2. 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上